

令和4年度使用中学校教科用図書採択に係る選定理由書

種目	社会（歴史的分野）	第1：東京書籍	第2：自由社
理 由	対象となった2社の図書は、どちらも1単位時間の内容を見開き2ページ分とし、学習課題として「どのように」「どのような」等の問いかけが記載されており、その時間の到達すべき目標を明示する工夫がされている。また、どちらの教科書もキャラクターを用い、生徒が親しみやすくなるような工夫がされており、見開き2ページの最後で「チェック」「トライ」や「チャレンジ」などで学習のまとめを行うよう編集されている。本文と資料のレイアウトは、どちらも中心部に本文を配し、本文の左右と上部に資料を配する形となっている。		
	しかしながら、以下の点において、第1図書が優位となっている。		
	第1に、第1図書は、生徒の探究を深める工夫がなされている。つまり、章末のまとめ等について各時代の特色が探究課題に沿ってまとめられている。そのことにより、生徒一人一人が、主体的・対話的で深い学びを進めることができる。また、グループで協働活動を行う工夫も見られる。このように、本書全体を通して、主体的に学習に取り組める工夫がみられる。		
	第2に、第1図書は、二次元バーコードを取り入れてICTを活用した学習に対応できるように工夫されており、掲載資料に他教科や他分野との関連についても示されている等、生徒が主体的に学習を進められる工夫がされている。		
	第3に、第1図書は、世界史の分野において、現地の言語に基づいた表記を使用し(ガンディー、アーリヤ人等)、各国の文化に配慮している。また、カラーユニバーサルデザインを採用し、生徒の特別なニーズにも配慮した構成となっている。		

